

市民と議会の意見交換会報告書

令和4年11月8日

白石市議会議長 小川 正人 殿

報告者 厚生文教常任委員会（3班）

（班 長）高 子 秀 明

白石市議会意見交換会開催要領の規定に基づき、次のとおり報告書を提出します。

日 時	令和4年10月23日（日） 10時00分 ～ 15時30分		
場 所	白石市中央公民館 大ホール		
出席議員	（班長）高子 秀明	（書記）佐藤 龍彦	佐藤 秀行
参加人数	4 人 （男 3人：女 1人）		
意見交換	【意見交換の内容】 ワークショップ テーマ： 教育について ※ 詳細な内容は、別紙「意見交換での意見、課題等」のとおり		

(別紙)

意見交換での意見、課題等

意見交換での意見、課題等

厚生文教常任委員会（3班）

【テーマ】教育について

【参加者から】

- 全国標準学力検査の平均に疑問 → 個々の力は平均ではなく、その子の特性
- 確かな学力
 - ・ 学力 = 生きる知恵、知識に偏らない
- 学力のとらえ
 - ・ 生きる知恵 ・ 将来に生かす
 - ・ 生きて働く力
- 「学力」のとらえをどうするか
 - ・ 知識偏重で豊かにはならない
- 「学力」は生きて働く知恵 → 知識を生かし活用する力を育む
 - ・ テストの点数にならないところで頑張る子どももいる、そのような子は社会に対応できる。
 - ・ テストで子どもを追い立てない。
 - ・ 学力を知識として考えてはいけない。
 - ・ 子どもたちの生きる力をつくることが大事

【班の意見等】

学力向上を図りつつ、点数をつけることのできない非認知能力についても、今後注目していきたい。

【参加者から】

- 考える力を養う
- 主体性の向上
- 大人と子どもが交わる場づくり
- さまざまな大人との交流
 - ・ 大人が子どもたちに生き方を示してほしい。
 - ・ 生き方、選択肢を与えてほしい。

【班の意見等】

積極的に大人が子どもに関わることが重要であると考えことから、今後はさらに子どもと大人が交流できる場をつくることのできるように要望していきたい。

【参加者から】

- 先生と地域の交流
- 小中高一貫の郷土愛の醸成
 - ・先生と地域との交流が少ない。
 - ・先生から地域に交わってほしい。
 - ・新しいことをするにも考えることが必要
 - ・学校と地域のつながりが少なくなった。
 - ・農業体験など体験型の学習が少ない。

[班の意見等]

教員から積極的に地域に溶け込む必要があると考えるが、現実はずしもそのようにはなっていないと感じる部分もある。

【参加者から】

- デイジー図書について
 - ・デイジー図書について周知が必要
 - ・当事者への機能の活用について情報の周知も必要
 - ・学習が遅れている児童・生徒への活用も検討してほしい。

[班の意見等]

デイジー図書について、市民への周知を図っていきながら、障がいのある当事者についても機能活用について、周知が必要と考える。

今後は、近隣市町のデイジー図書の設置状況を見ながら、調査研究していきたい。